



《女川原子力PRセンターの展示をリニューアルしました》 ～みなさまお誘い合わせのうえ、ぜひお越しください～



女川原子力PRセンターでは、このたび館内の展示コーナーの一部として、資源・エネルギーコーナー、環境測定コーナー、放射線コーナー、原子燃料サイクルと放射性廃棄物コーナーをリニューアルしました。これらのほかに、50分の1原子炉模型や2分の1原子炉模型、安全対策紹介コーナーや地震体験コーナーなどもあります。また、2階にはお子さまが遊べるコーナーも用意しております。

来るゴールデンウィークにはイベントの開催も予定しておりますので、ぜひ、みなさまお誘い合わせのうえ、女川原子力PRセンターにお越しください。

リニューアルした展示コーナー

日本は資源小国です。
エネルギーについて
考えてみましょう。



総務部 広報グループ
佐々木 博子(仙台市出身)

資源・エネルギーコーナー



日本のエネルギー事情などについて、
家庭の暮らしや家族の会話などの映像
を見ながら学ぶことができます。

環境測定コーナー



発電所周辺の放射線や発電所から出る
温排水の測定・監視の様子を紹介してい
ます。

放射線コーナー



身近にある放射線や暮らしの中の放射
線利用について紹介しているほか、放射
線を実際に測定することもできます。

原子燃料サイクルと 放射性廃棄物コーナー



原子燃料サイクルや放射性廃棄物の
処理・処分について紹介しています。

放射線に関する
クイズや放射線を
測定するコーナーも
ありますよ。



総務部 広報グループ
那知上 寛(福島県出身)

おなじみのコーナー



1/2原子炉模型



1/50原子炉模型



地震体験コーナー



お子さまが遊べるコーナー(ボールプール、塗り絵など)



女川原子力PRセンターからのお知らせ

ゴールデンウィークイベントを開催します!

4月29日(金)～5月15日(日)、女川原子
力PRセンター2階に「東北電力図画コン
クールコーナー」を設置し、過去の入賞作
品の展示や審査委員の方々の作品の展示
などを行います。ぜひお越しください。

アテンダントの制服も新しくなりました。
皆さまのお越しをお待ちしています。



女川原子力PRセンター
〒986-2221 宮城県牡鹿郡女川町塚浜字前田123
TEL. 0225-53-3410 FAX0225-53-3286
●開館時間 9:30～16:30
●休館日 毎月第3月曜日(祝日の場合翌日)・年末年始
●駐車場 25台分(大型バス駐車スペース有)
※館内に飲食施設はございません。 ※入場無料

《発電所におけるケーブルの不適切な敷設に係る点検結果および今後の対応について》 ～再発防止対策を確実に実行し、原子力発電所の安全確保に取り組んでまいります～

女川原子力発電所では、このたび、原子力規制委員会の指示を踏まえながら、ケーブルの不適切な敷設に係る調査を行った結果、社内の基準に適合していない事例が確認されました。具体的には、2・3号機の中央制御室の床下で計163枚の分離板の損傷などが、また1～3号機の中央制御室の床下またはその他建屋内において、ケーブルの不適切な敷設が計32本確認されました。

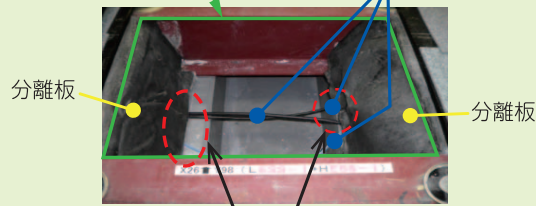
なお、不適切な敷設状態が確認された箇所につきましては、すでに是正しております。

本件について、火災防護の観点から不適切な敷設状態にあったことを深く反省し、「敷設時の管理ルールが不十分だった」という原因分析を踏まえて「敷設時の管理ルールの明確化」や「関係者への教育」といった再発防止対策を確実に実施してまいります。

事例①

原子炉の緊急停止や非常用炉心冷却などの制御・監視などを行う機器につながるケーブルを敷設する場所(安全系)

タービンの制御・監視などを行う機器や、その他の機器につながるケーブル(非安全系)



非安全系の「タービンの制御などのその他ケーブル」が分離板を貫通し、隣接する場所をまたいでいる状態

事例②

タービンの制御・監視などを行う機器や、その他の機器につながるケーブル(非安全系)

原子炉の緊急停止や非常用炉心冷却などの制御・監視などを行う機器につながるケーブルを敷設する場所(安全系)



非安全系の「タービンの制御などのその他ケーブル」が複数の場所にまたいで敷設されている状態

《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

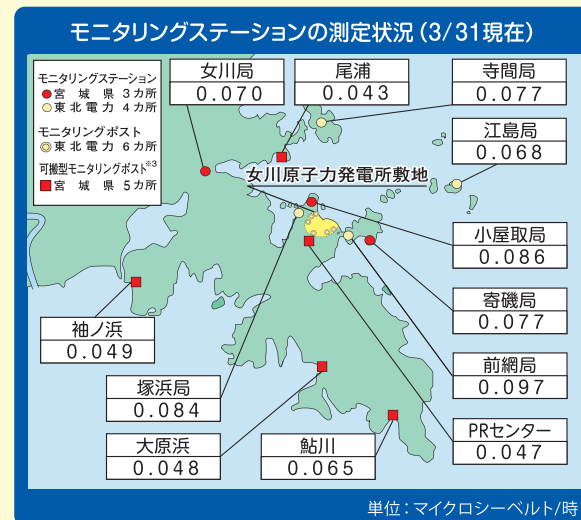
発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの現在の測定値は、最大で0.060マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。

※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されており、その最小値と最大値について、東北地方太平洋沖地震の発生日の値、それ以降で最大値が測定された日(平成23年3月13日)の値、毎年度(4月1日)の値、至近の値を掲載しています。

※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。

※3 宮城県では、震災により測定不能となっているモニタリングステーションの代替として、可搬型モニタリングポストによる測定を行っています。

※4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。



(参考)モニタリングポストの最小値と最大値

〈東北地方太平洋沖地震発生日〉	
平成23年3月11日	0.027~0.064
〈地震発生後最大値〉	
平成23年3月13日	1.8~21※4
〈地震発生以降毎年度(4/1)の値と至近値〉	
平成24年4月1日	0.063~0.098
平成25年4月1日	0.055~0.076
平成26年4月1日	0.046~0.065
平成27年4月1日	0.043~0.077
平成28年3月1日	0.041~0.071
平成28年3月31日	0.041~0.060

単位:マイクロシーベルト/時

新規制基準適合性審査状況のお知らせ(3月末現在、審査会合70回開催)

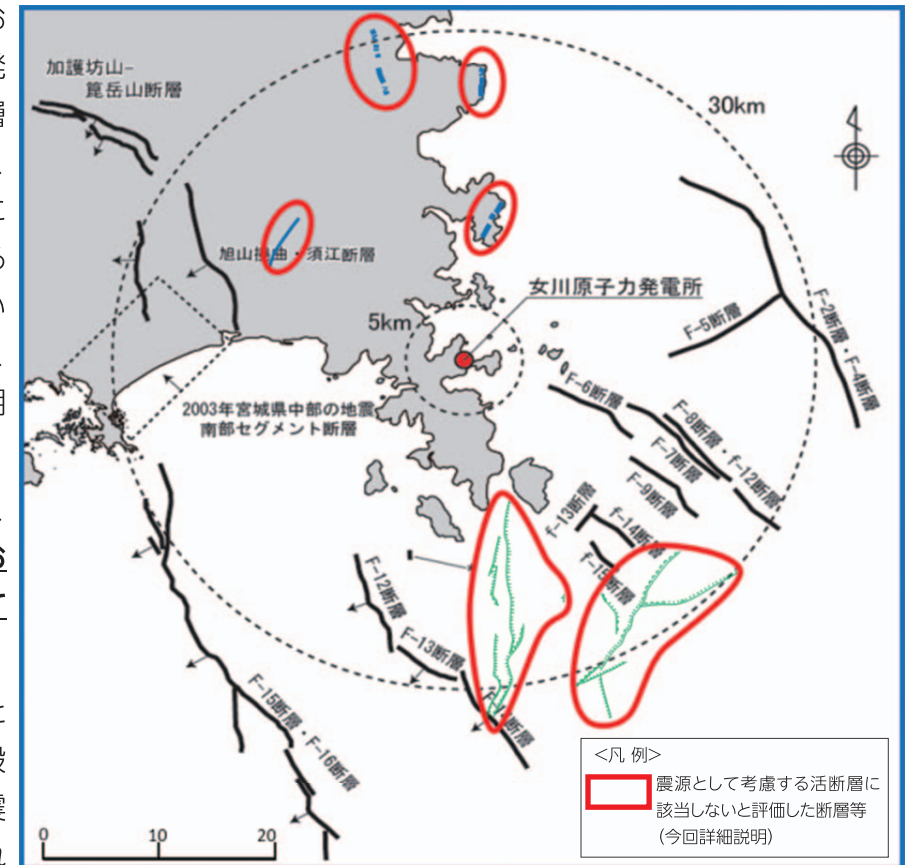
《敷地周辺の活断層評価について》

女川原子力発電所2号機の適合性審査では、基準地震動の策定のうち、「敷地周辺の活断層評価」について審議されています。(平成28年3月10日)

これまでの審査会合におけるコメント等を踏まえ、発電所の敷地周辺にある断層等のうち、「活動性がなく、震源として考慮する活断層に該当しない」と評価している断層等について、より詳しい調査・検討結果に基づき、活動性がないことなどを説明しました。

原子力規制委員会から、**本審査項目について、おおむね妥当な検討がなされていると評価されました。**

今後、本審査項目のまとめの審議を行い、内陸地殻内地震(活断層による地震動評価)の審議に反映される予定です。



《今後の審査の進め方について》

平成28年3月31日に開催された審査会合では、原子力規制委員会より、「今後のBWRプラントの審査の進め方」について方針が示され、これまで実施されてきた東京電力柏崎刈羽原子力発電所6・7号機の集中審査が見直され、**女川原子力発電所2号機を含む6つのプラントが並行して審査されることとなりました。**

当社はこれまで、集中的に審査が行われてきた東京電力柏崎刈羽原子力発電所6・7号機の審査状況を注視し、当社の審査資料に反映するなど、女川原子力発電所2号機の審査が効率的に進むよう必要な準備を進めてまいりました。引き続き、今後の審査会合やヒアリングにしっかりと対応してまいります。

審査会合の詳細は当社ホームページをご覧ください。また、原子力情報のページをリニューアルしました。

東北電力 女川審査会合

検索